

## 第4学年国語科学習指導案

児童 4年2組 男子21名 女子19名 計40名  
指導者 菅原 斉子

- 1 単元名 場面をくらべて読もう  
教材名 「一つの花」(物語)

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

児童は、「読むこと」の学習において、3年生で学習した物語教材で、4つの学習の方法「登場人物、物語の設定、出来事、山場の指摘」を用いて、登場人物の心情を考えたり感動的な場面をとらえたりすることを学んだ。4年生になり、教材「三つのお願い」で、既習の方法を用いて、主人公の気持ちや行動の変化を読み取ったり、変化を与えた人物を把握したりする学習を通して、作品に対して自分の考えや思いを深める学習を行った。さらに、「白いぼうし」では、登場人物の人柄や出来事、象徴しているものを考えることで作品の特徴をとらえる学習を行っている。これらの方法を基に、意欲的に課題を自分で解決しようとしたり、楽しんで話し合いに参加したりするが、多くの児童は課題を自力で解決できるまでにはいたっていない。

本単元の事前調査において、ほとんどの児童は、登場人物の指摘と物語の設定の把握については自力で読み取ることができた。しかし、山場の指摘や題名が象徴していることについては誤答が目立ち、父が出征し、帰ってこなかったことを話の中心ととらえている児童が多く見られた。戦争から帰ってこなかった父に着目し、作品に対して、「悲しい」という感想をもった児童が多く、この話の中心である「父のゆみ子への願い」や「父母の愛情を受けてたくましく生きるゆみ子」に関して感想をもつまでにはいたっていない。

#### (2) 単元と教材について

本単元「場面をくらべて読もう」は、登場人物の様子や気持ちを場面ごとに比較しながら読み取ることを通して、戦争時の人々を描いた作品世界に迫ることをねらいとしている。

中心教材「一つの花」は、主人公「ゆみ子」とその両親の戦争中から戦争後までの様子を描いた物語であり、平和への願いと家族愛が主題になっている。物語の前半の場面は戦争中、後半は戦争後という構成になっており、前半と後半を対比的にとらえることによって、戦争と平和がもたらすものをとらえることができる。また、くりかえし出てくる言葉「一つだけ」に着目し、場面による意味の違いを対比的にとらえることで、題名「一つの花」の象徴性に気付かせ、物語の作品世界に迫っていくことができると考える。

補助教材「むらさき花だいこん」は、大陸に渡った若い日本兵が、中国人の少女からもらった花の種「むらさき花だいこん」を、戦争後、平和への願いをこめて一生をかけて日本中にまくという話である。戦争中と戦争後を描いていることや、花に願いを託していること、中心となる人物が兵士だということ等、「一つの花」と共通している点が多いことから、補助教材に適した物語と考える。中心教材を通して学んだ読みの方の活用と習熟を図るとともに、二つの物語に共通することを考えさせ、児童の戦争や平和に対する考えを深めたい。

(3) 付けたい力と読みの方法

【付けたい力】

読みの方法

【物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握する力】

設定をとらえる。  
 ・登場人物 ・時、場所  
 出来事にそって場面を分ける。  
 ・出来事

これらの方法を用いて児童にとらえさせたいことは以下の通りである。

- ・登場人物はゆみ子とお父さん、お母さんの三人であり、主人公はゆみ子であるが、語り手はお父さんの気持ちに寄り添って物語を展開している。
- ・戦争中と戦争後の二つの場面構成になっている。
- ・父母のゆみ子への思いが分かる出来事に着目すると五つの場面に分けられ、内容の大体が把握できる。

【登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読む力】

会話文や行動を基に心情を読む。  
 ・お父さんの言動 ・キーワード（コスモス）  
 場面を対比しながら読む。  
 ・戦争中と戦争後のゆみ子を取りまく状況の変化

お父さんの心情に気を付けて物語を読み進めるが、語り手は登場人物の心情を語っていないという作品の特徴上、お父さんの言動に着目させる。その際、お父さんの言動の中に頻繁に出てくる「一つだけ」の場面での意味の違いを対比して考えさせたり、山場の場面でゆみ子に差し出す一輪のコスモスの描写を詳しく読んだりすることによって、ゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを想像的にとらえさせる。また、戦争中と戦争後のゆみ子を取り巻く状況の変化の違いを対比的にとらえさせることで、戦争によって奪われるものと、平和によってもたらされるもの、戦争でも奪えないものについて考えさせる。

【物語に対して自分の考えをもつ力】

題名の象徴性を考える。  
 ・キーワード  
 読み取りを通して考えたことを文章に書く。  
 補助教材を読み、共通していることを考える。  
 ・物語の対比、類比

題名「一つの花」の象徴しているものを「一つ」と「花」をキーワードとしてとらえさせたり、作品にこめられた内容「父母の愛情や平和への願い」をゆみ子への手紙という形で文章にまとめさせたりすることによって、物語に対する自分の考えを深めさせる。

さらに、中心教材と補助教材の類似点、相違点をとらえさせるために、中心教材を通して学んだ学習の方法「設定、出来事、場面の対比、題名の象徴性」等の方法を用いて作品を読ませ、習熟を図るとともに、それらを対比・類比させることで、二つの物語に共通する内容に迫る。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	読みの方法を用いて課題について進んで考え、意欲的に物語を読もうとする。	・読みの方法を用いて課題について進んで考え、意欲的に物語を読もうとしている。
読む能力	物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握することができる。	・物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握している。

	<p>読むこと ウ</p> <p>登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読むことができる。</p> <p>読むこと ウ</p> <p>読み取った内容から自分の考えをもち、まとめることができる。</p> <p>読むこと エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読んでいる。</li> <li>読み取った内容から自分の考えをもち、まとめている。</li> </ul>
言語についての知識・理解・技能	<p>新出漢字や読み替えの漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。イ(ア)</p> <p>難語句の意味を国語辞典で調べることができる。エ(イ)</p> <p>様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解することができる。</p> <p>エ(ア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出漢字や読み替えの漢字を正しく読んだり書いたりしている。</li> <li>難語句の意味を国語辞典で調べている。</li> <li>様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解している。</li> </ul>

#### 4 単元の指導計画と評価規準（12時間）

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	単元名とリード文から学習に見通しをもつとともに、本文を通読し、感想を書く。 新出漢字や難語句の意味を調べる。		リード文で問いかけられていることを意識しながら感想を書いている。 (ノート)	新出漢字や読み替えの漢字を正しく理解している。 (ノート)
	2	「ちいちゃんのかげおくり」を想起し、「一つの花」との共通点と相違点を話し合うことで学習に関心をもち、学習計画を確認する。	進んで二つの物語の共通点と相違点を考え、学習に関心をもっている。(観察、ノート)	二つの物語の共通点と相違点に気付いている。(発言、ノート)	難語句の意味を国語辞典で調べている。(ノート)
深める	3	物語の設定と場面の展開をとらえ、大体の内容を把握する。	進んで課題について考えようとしている。(観察、ノート)	物語の設定と場面の展開をとらえ、大体の内容を把握している。(発言、ノート)	様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解している。 (ノート)
	4	戦争中のゆみ子をとりにくく状況を読み取る。		戦争中の物質的に欠乏しているゆみ子をとりにくく状況を読み取っている。(発言、ノート)	
	5	高い高いをするお父さんのゆみ子への思いを読み取る。		「一つだけ」という言葉の意味を考えながら、ゆみ子の将来を案じるお父さんの思いを読み取って	

				いる。(発言、ノート)	
	6	戦地に出向くお父さんの状況と心情を読み取る。		戦地に出向くお父さんの状況と心情を読み取っている。(発言、ノート)	
	7	お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげた理由を読み取る。		「一つだけ」の意味を比べながら、お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげた理由を読み取っている。(発言、ノート)	
	8 本時	十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめる。		十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめている。 (発言、ノート)	
ま と め る	9	題名が表していることをとらえ、物語に対する自分の考えを深めるとともに、読み取ったことを生かしてゆみ子に手紙を書く。	進んで題名について考えたり、手紙を書いたりしている。(観察、ノート)	読み取った父母の愛情や平和への願いを考えながらゆみ子に手紙を書いている。(発言、ノート)	
広 め る	10	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読む。	学習した方法を使って、進んで文章を読もうとしている。(観察、ノート)	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読んでいる。(発言、ノート)	
	11				
	12	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読み、二つの物語に共通する中心となっている考えに迫る。	二つの物語を比べて読み、共通する中心となっている考えに迫ろうとしている。(観察、ノート)	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読み、「一つの花」と比べて自分の考えをもっている。(発言、ノート)	

## 5 本時の指導(8/12)

### (1) 本時の目標

十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観点	具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
国語への関心・意欲・態度		課題を自分で解決するために、進んで読んだり、活発に発言したりしている。	課題を自分で解決するために、進んで読んだり、積極的に話し合いに参加しようとしていたりしている。	自分の考えをもてず、消極的になっている児童には、読みの方法の手立てを具体的に提示したり、掲示物を振り返らせ、既習事項を想起させたりする。
読む能力		十年後のゆみ子と、ゆみこを取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子を、父母のゆみ子への思いと関わらせてまとめている。 例) 幸せである。戦争によってゆみ子は父をなくしたが、父のゆみ子への愛情は変わらず残り、ゆみ子を包んでいる。また、貧しくても、生活の中に喜びや希望があるから。	十年後のゆみ子と、ゆみこを取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめている。 例) 幸せである。戦争によってゆみ子は父をなくしたが、平和によって、ゆみ子は物を選んだり、買い物をしたり、安心して外出したりできるようになったから。	板書によって児童の考えの根拠となる部分に着目させ、本時の学習を振り返らせる。

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見通す	1 既習の「ちいちゃんのかげおくり」の学習を想起し、「一つの花」との違いを意識させることで学習の全体像をつかませる。  2 学習課題を確認する。 十年後のゆみ子は幸せかどうかを考えよう。	・戦争で、家族も、命も、未来をも奪われたちいちゃん的不幸を確認し、「ゆみ子はどうかだろうか。」と問いかけることで本時の学習に問題意識を持たせる。 ・答えを二者択一で考えられる課題を設けることで、どの児童にも課題に対する考えをもたせる。
5分	3 読みの視点を確認し、学習の見通しをもつ。 ・戦争中の暮らしと戦後の暮らしの対比	・戦争中と戦後の暮らしの違いを比べて読めばよいことを確認し、課題解決に見通しをもたせる。
深める	4 学習場面を音読する。  5 課題に対して自分の考えをもつ。 (1) 読みの視点を基に、課題について考える。 (2) 考えを交流し合う。 ・ 幸せ派 理由・・・肉と魚を選べる 「一つ」ではなく、いっぱいのコスモスに包まれている。 スキップして買い物に行ける。	・戦争中の暮らしとの違いがわかるところを考えながら5の場面を音読させる。  ・読みの視点を基に、考えの根拠を叙述から探す。 ・一人一人に自分の言葉で考えを表現させるためにペアによる話し合いを設けた後、全体による話し合いで考えを深めていく。 ・話し合いに「幸せ」と「不幸せ」の対

35分	<p>・不幸せ派 理由・・・お父さんがいない。 母が忙しく働き、生活は豊かではない。</p> <p>(3) 課題を解決する。 お父さんは2の場面でゆみ子がどんな子になるのではないかと心配していましたか。 ・喜びなんて一つもない子 なぜ、お父さんの心配したような子どもにならなかったのですか。 ・平和になったから ・お父さんのコスモスに包まれて暮らしているから ゆみ子は幸せですか。不幸せですか。</p> <p>戦争でもうばえないものはなんでしょう。</p> <p>6 課題に対するまとめを書く。</p>	<p>立軸を設けることで話し合いの活性化をねらう。 課題について進んで考え、積極的に話し合いに参加しようとしていたか。 (ノート、観察)</p> <p>・「喜びなんて一つもない子」、「一生、『みんなちょうだい』とすることができない子」であったことを想起させる。 ・「平和になったから」という理由にとどまらず、「父はいないが、両親の愛情に包まれ、貧しい暮らしの中にも、自由があり、喜びを見い出しているから」ということに気付かせる。 ・答えを一つに収束させずに、その答えにいたった考えの過程を評価する。 ・親の愛情や喜びを見い出して生きていこうとする人間の強さにふれる。 ・話し合いを経て深まった考えを自分でまとめる。 平和の中を生きるゆみ子の様子を、叙述から根拠を見つけて自分でまとめることができたか。(ノート、発言)</p>
まとめ5分	<p>7 まとめを音読をする。 8 学習を振り返る。 9 次時の学習課題を確認する。</p>	<p>・学習した場面を指名音読させる。 ・自分の読みの深まりや読み取り方について振り返らせる。 ・題名が表していることを考え、ゆみ子に手紙を書く活動であることを確認する。</p>

(4) 板書計画



